

簡易な所得見込額の申立書（申請者本人用）

【家計急変者用】

- ・「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親分）申請書」及び「簡易な収入見込額の申立書（申請者本人用）」と一緒にご提出ください。
- ・「簡易な収入見込額の申立書（申請者本人用）」の要件を満たさなくても、**本申立書において年間所得額（E3）が所得基準額（F）を下回る場合には支給の対象となります。**

各項目を確認いただき、氏名をご記入ください

- ・本給付金の申請要件に該当しています。
- ・年間所得見込額（E3）が所得基準額（F）を下回っています。
- ・控除額が分かる書類（帳簿など）を提出しています。
- ・今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の所得見込額（E3）が所得基準額（F）を上回ることが明らかであるものではありません。
- ・本申立の内容に相違ありません。

令和 年 月 日 申立人氏名

所得で申し立てたい方と申請者本人の関係性であてはまるものにチェックしてください。

本人

「簡易な収入見込額の申立書」において算出した年間収入の見込額（E）のうち、控除が見込まれる金額をご記入ください。（下記の項目以外の控除額は記載不要です。）

項目		金額（単位：円） 万 千 百 十 一				注意事項		
A2	養育費					養育費の20%の金額をご記入ください。 1円未満の端数は、四捨五入してください。		
B2	給与収入	給与収入の額(B)		控除額		「簡易な収入見込額の申立書」の給与収入の額(B) × 12した額を左の表にあてはめて、該当する控除額をご記入ください。 例 (B) × 12の額が3,000,000円の場合 1. 1,800,000以上3,600,000以下の区分です。 2. この区分の控除額はB × 0.3 + 180,000です。 3. 計算すると3,000,000 × 0.3 + 180,000より1,080,000となります。		
		以上	以下					
		0	650,000	B				
		650,001	1,625,000	650,000				
		1,625,001	1,800,000	B × 0.4				
1,800,001	3,600,000	B × 0.3 + 180,000						
3,600,001	6,600,000	B × 0.2 + 540,000						
C2	事業収入又は不動産収入					「簡易な収入見込額の申立書」の事業収入又は不動産収入に係る経費相当額をご記入ください。帳簿などの経費が分かる書類をご提出ください。		
D2	年金収入	年金収入の額(A)		控除額		年金収入の額(A)を左の表にあてはめてください。 65歳以上の場合は右の表になります。		
		以上	以下					
		0	1,300,000	700,000				
		1,300,001	4,100,000	A × 0.25 + 375,000				
4,100,001	7,700,000	A × 0.15 + 785,000						
X	社会保険料の相当額		8	0	0	0	0	一律で80,000円となります。
Y	その他の控除額					別添の控除対象一覧表を参考のうえ、以下の控除等がある場合には、該当するものにチェックをしていただき、その合計額を記入してください。 <input type="checkbox"/> 雑損控除及び医療費控除 <input type="checkbox"/> 小規模企業共済等掛金控除 <input type="checkbox"/> 障害者控除及び特別障害者控除 <input type="checkbox"/> 勤労学生控除 <input type="checkbox"/> 雑損失の繰越控除 <input type="checkbox"/> 寡婦、寡夫及び特別寡婦控除		
E	年間収入の見込額					簡易な収入見込額の申立書から転記してください。		
E2	控除額の合計					(A2+B2+C2+D2+X+Y)により算出してください。		

(裏面に続きます)

E3	年間所得見込額		表面の(E-E2)より算出してください。
F	所得基準額		下にある所得基準額より転記してください。

○所得基準額を算出します

申請者が生計を同じくし養っている親族（児童含む）、または養っている親族以外の児童（申請日時点で扶養を行っている者）の氏名を、**簡易な収入見込額の申立書と同様**にご記入ください。

番号	フリガナ 氏名	生年月日	申請日時点の年齢	該当する場合は△または○を記入		職員記入欄	
				16歳以上23歳未満の親族(△)	70歳以上の親族・配偶者(○)	△	○
1							
2							
3							
4							
5							

上記で記入した人数を
チェックした上で、
あてはまる基本基準額を
工の欄に転記してください。

△もしくは○ の合計数		
係数	× 150,000円	× 100,000円
加算額		

✓	人数	基本基準額
	0人	1,920,000円
	1人	2,300,000円
	2人	2,680,000円
	3人	3,060,000円
	4人	3,440,000円
	5人	3,820,000円
	人	円

6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算します。

単位：円

ウ	加算額合計	
エ	基本基準額	
F	所得基準額 (ウ+エ)	

Fの所得基準額を、上にあるF欄に転記してください

申請者が**父母以外の養育者**で、かつ**以下のいずれかに該当する場合は所得基準額が変わりますので**、こども福祉課児童扶養手当担当(047-712-8539)までご連絡ください。(異なる様式の所得基準額の算出票をお送りします)

- ・父が死亡または生死不明かつ母がない児童、もしくは母が死亡または生死不明かつ父がない児童
- ・母がなく、かつ、父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・母が婚姻によらないで懐胎した児童であって、母が死亡したもの又は母の生死が明らかでないもの
- ・父がなく、かつ母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・父母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ・母が婚姻によらないで懐胎した児童に該当するかどうか明らかでない児童